

安全報告書

運輸安全マネジメントに関する取り組みについて

(株)クリスタル観光バスでは、「運輸安全マネジメント」に基づいて、輸送の安全に関する基本的な方針及び輸送の安全に係る情報を以下の通りに公表し、全社員が一丸となって「輸送の安全・安心」に取り組んで参ります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

株式会社クリスタル観光バス
基本方針
※ 如何なる時もお客様の安全確保が全てに優先する。
※ 如何なる時もスペシャリストとしての自覚を持つ。
お客様の安全・安心を第一と考え、各部署がプロフェッショナルとしての判断で臨機応変の対応を求めます。
其の判断が、たとえ会社の利益を阻害しようと安全の確保を最優先することを英断して下さい。
※ 関係法令の遵守
輸送の安全に関する基本的な方針
※ 現在の人身事故『ゼロ』の継続と延長
代表取締役 古市 啓 悟

安全宣言

1. 安全最優先……安全快適な輸送の心掛ける
2. 関係法令の遵守……輸送の安全に関する関係法令を遵守し、事故「0」を目指す

2. 輸送の安全に関する目標及び目標の達成状況

2021年度 実績

	目標件数	実績件数
重大事故	0	0
人身事故	0	0
合計	0	0

2022年度 実績

	目標件数	実績件数
重大事故	0	0
人身事故	0	0
合計	0	0

2023年度 実績予定

	目標件数	実績件数
重大事故	0	0
人身事故	0	0
合計	0	0

3. 事故に関する統計

2023年度に発生した自動車事故報告規則 第2条に該当する事故件数

- ★ 報告事故 0件
- ★ 車両故障 0件

4. 輸送の安全のために講じた措置及び講じようとする措置

当社では輸送の安全を確保するため、経営陣をはじめ全社員との意見交換を行い、積極的に安全のための設備投資を行っています。

会議風景

設備投資に関する項目

フォークリフトの購入

教育・指導に関する項目

自動車事故対策機構の行う適性・適齢診断の受講
乗務員年間教育計画をもとに指導・教育の実施
雪道等の教育指導



健康に関する項目

貸切バス運転者には全員に毎年2回健康診断の実施

安全に関する機器の導入状況

デジタルタコグラフ・ドライブレコーダーの導入率

貸切バス 26台 26台 100%

衝突被害軽減ブレーキの装着車

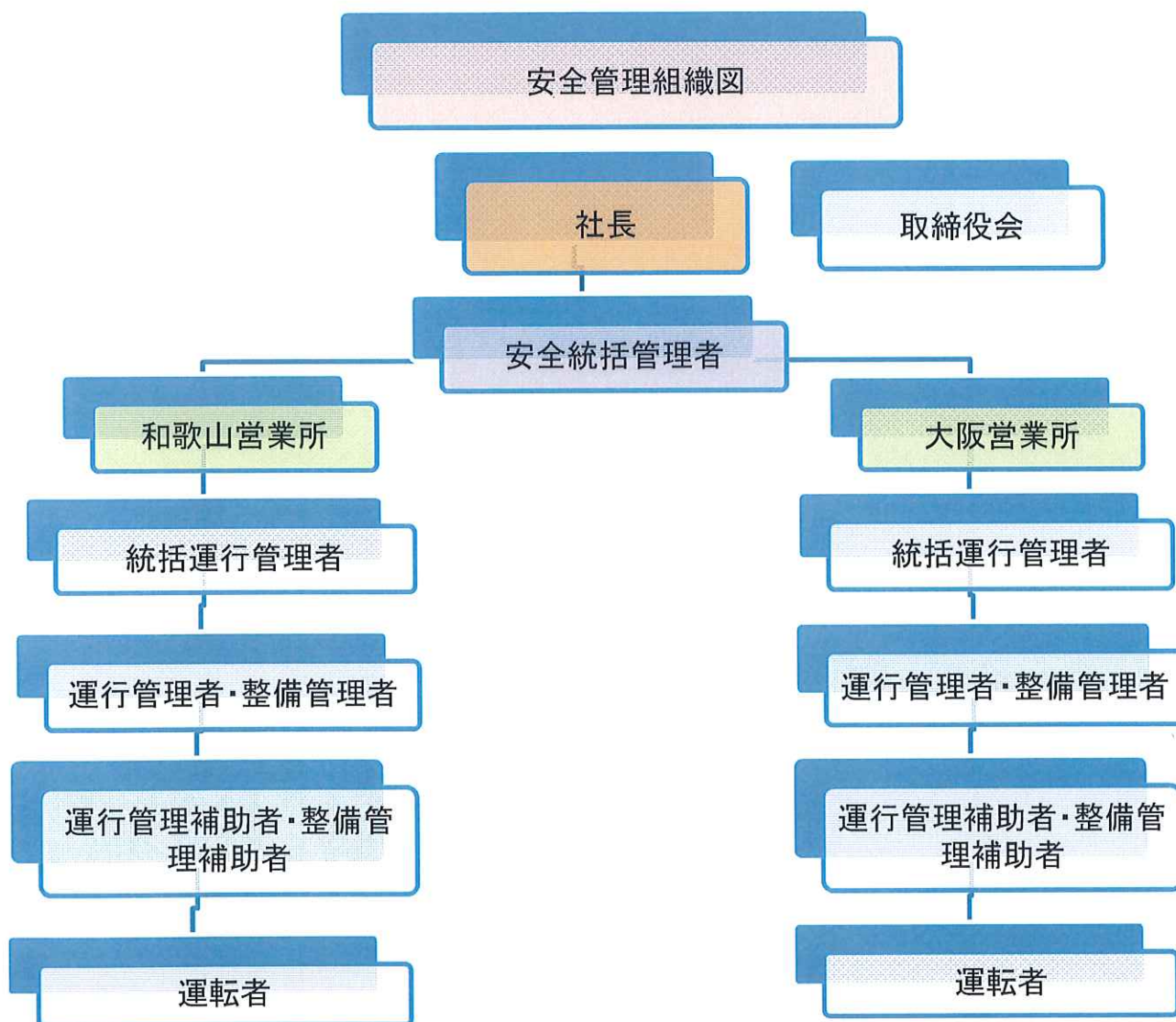
貸切バス 26台 18台 69.2%

毎年雪シーズン前に全車スタッドレスタイヤを装着

その他

和歌山県バス協会 加盟

5. 輸送の安全に係る情報伝達体制その他の組織体制



6. 輸送の安全に関する教育及び実施状況

① 令和5年度入社の新入運転者に対する運転者として選任までの座学や路上教習風景



教本を用いた教習



ドラレコ映像を使った教習



指導者添乗で山岳(高野山)道路教習

② 自動車事故対策機構の行う適性・適齢(65歳以上)診断の受講実績 適性・適齢診断については3年に一回計画受講を行っています。

	2021年度		2022年度		2023年度	
	対象者	受講者	対象者	受講者	対象者	受講者
適性診断	13	13	11	11	8	8
適齢診断	0	0	5	5	3	3

③ 冬季シーズンが始まる前に毎年雪道教習・タイヤチェーン教習を行っています。



令和5年12月



令和5年12月

7. 輸送の安全に係る内部監査の結果並びにそれに基づき講じた措置及び講じようとする措置

2023年8月に関係法令に関する監査を行い、法令に関する取り組みについて適合性、有効性に関して概ね適性である事が確認された。

8. 安全管理規程

<http://www.cypress.ne.jp/crystal/contents/kitei.pdf>

9. 安全統括管理者

運輸部課長 大島真知